

## 宮城県支部

支部幹事 高木 康守

(昭和60年園芸学科卒)

林産振興会の特用林産功労者表彰を受賞されたとの報告があり、佐藤末吉さんから喜びの声をお聞きし、出席者全員でお祝いしました。いろいろ思い出話を尽きない中、千田譲さん(昭和39年農学科卒)の中締めで閉会となりました。

来年度の同支部総会の開催は、6月に開催することとしておりますので多数の皆様の出席を心からお待ちしております。



宮城県支部総会 令和元年6月15日(土) 於:仙台市「パレス宮城野」

## 福島県支部

支部長 菊地 和明

(昭和57年農業工学科卒)

ながら復興に取り組んでいます。この復興事業等の実施の中で、次社会であるSociety 5.0が予感されるところであり、人と人とのコミュニケーションスタイルも、今後大きく変化していくものと思われます。同時に、当然変わっていく同窓会への期待や役割を見つめつつ、引き続き「会員相互が程よい距離感に心地よさを感じる同窓会」を育んでいきたいと感じております。



福島県支部総会 令和元年7月6日(土) 於:福島市「フロンティア」

## 関東支部

副代表

佐藤 真一

(昭和48年農芸化学科卒)

梅雨に入つて曇天の中、6月9日に第16回鶴窓会関東支部総会が例年通り山形大学東京サテライトリエゾンにて会員24名にご来賓の齋藤博行鶴窓会会长、樋口浩朗校友会事務局長と講演会演者をお引き受けいたいた林田光祐農学部長にも加わっていただき開催されました。

丹野修関東支部事務局長(昭和47年園芸学科卒)の挨拶では、齋藤鶴窓会新会長から今後の取り組みについて説明があり、3人の職員が毎週東京に来るのをどうぞ提案を出して欲しい旨のご要望がありました。

ここからは眞嶋支部会会長の進行にて、奥泉久人様(昭和61年林学科卒)から平成30年度の会計は健全に行われたことと、監事の大津英雄様(昭和42年林学科卒)から承認の説明を頂き、

事務局次長の松山正弘様(昭和57年農業工学科卒)からは本部代議員会にてメールで集められた内容を協議したこと、新潟県支部、秋田県支部開設助成について説明されました。丹野事務局長からは本部から配布された「平成30年度会費納入率」をも

とに関東支部は会員数が既に1536名に達していて1000名を超える会員に総会案内を出しているが返ってくる数が少なく、その半数が案内不要の返事であることから対策の必要性に言及されました。このことに対し参加者からご講演を頂く林田農学部長に卒業式の際に鶴窓会への参加説明の要望が出され、既に説明されている旨のご返事を頂きました。

その他の時間では、齋藤鶴窓会会长にご参加いただいていることから、鶴窓会代議員・監事の数が多過ぎ、新潟県支部、秋田県支部の新設のこともあり削減すべきであること、地域に偏っていることから会員数1500名を超える関東支部からは副会長を出しても良いのではないかなど記載しきれない数、内容の意見が提出され、珍しく予定をオーバーして総会を終了しました。

休憩後、林田光祐農学部長にご講演を頂きました。農学部の「新しい時代の山形大学農学部の教育・研究と地域貢献」と題し

発足から1学科までの沿革、総

合科学としての農学部の特色、グローバルな人材育成のための国際交流、地元地域貢献のための講座、セミナーなど幅広い内容についてご講演を頂き、山形大学農学部の更なる発展、社会に出る学生の社会への貢献に期待を膨らませることができました。

ご講演後、鳥居英樹様(平成2年農芸化学科卒)、宮坂啓一様(平成2年農芸化学科卒)による集合写真撮影を行い、懇親会に移りました。篠原斉四郎様(昭和47年林学科卒)・松山事務局次長の司会で、眞嶋支部会会長の挨拶、物故者の黙祷、ご講演を頂いた林田農学部長のご挨拶を頂いた後、木下弘光様(昭和36年林学科卒)の乾杯の発声で歓談が始まりました。林田農学部長・鶴窓会本部からご提供を頂いた地元の銘酒、齋藤会長から頂いたサクランボ、更に長らくお世話になった本部事務局の村上様からの「升瓶」が異なる場の盛り上げに寄与し、途中からはマイクを取り合つて自己紹介、近況報告で大いに盛り上りました。懇親会の最後に林田農学部長から関東支部の盛り上げのために各卒業年ごとに行われている同期会を開東支部に取り込み、関東支部会総会に参加しても話し相手がいる場を作るのは個人情報の問題はあるものの名簿の管理が重要である、とのご意見は個人情報の問題はあるものの名

行会長をお迎えし、総勢27名が参加し行われました。

総会では、富樫千之支部長(昭和51年農業工学科卒)が開会のあいさつを行ない、齋藤会長から来賓あいさつをいただきました。その後三浦正司さん(昭和53年農業工学科卒)を議長に選出し、「平成30年度事業報告及び収支決算について」、「令和元年度事業計画(案)及び収支予算(案)について」の2議案が承認されました。

総会後懇親会を開催しました。懇親会は富樫支部長のあいさつ、佐藤末吉さん(昭和26年林学科卒)の乾杯の音頭で開宴しました。郡山賢一さん(昭和48年農芸化学科卒)から、佐藤末吉さんが日本特用

れました。

総会後懇親会を開催しました。懇親会は富樫支部長のあいさつ、佐藤末吉さん(昭和26年林学科卒)の乾杯の音頭で開宴しました。郡山賢一さん(昭和48年農芸化学科卒)から、佐藤末吉さんが日本特用



7月6日、令和元年6月度支部総会・懇親会を福島市において開催し、24名が出席しました。

当支部もご多分に漏れず、毎年の出席者が限定的であるという課題がありますが、毎回出席する会員間の強い連帯感は、決して課題ばかりではない、と自己に言い聞かせています。当面は将来もしっかりとこれからの人材を確保することに主眼を置いているのが実状です。今回も新たに若い世代が参加してはじめており、年1回ではありますが、幅広い世代が会しそれの想い出を熱く語らうという、同窓会ならではの醍醐味を楽しんでいます。

福島県は現在も、鶴窓会の皆様はじめ国内外の様々な皆様のご支援をいただき



関東支部総会 令和元年6月9日(日) 於:港区芝浦「山形大学東京サテライト」

会費の納入にご協力下さい。  
一律2,000円となりました。

〈鶴窓会事務局より〉

コンビニでの支払いが可能になりましたので是非ご利用下さいようお願い申し上げます。

「鶴窓会だより」への広告を募集しております。  
団体・個人(名刺判)等、受け付けております。事務局までご一報下さい。

山形大学農学部 鶴窓会事務局  
TEL / FAX 0235-28-2897(平日 8:30~12:30)  
E-mail kakusoukai@kdp.biglobe.ne.jp

鶴窓会関西支部は昨年10月14日(日曜日)12回目の総会を終えて、又先9月には米沢工業会芋煮会、11月に総会に招待を受け参加、そして、年が明け、花咲き新緑香る4月下旬晴天のもと第5回都市の自然環境研究会(俗称芋煮会)を開催しました。又、本部総会にも、参加。又当会各幹事・会員とのネットワーク打合せがもたらされた。また、プロテクター使用の為より懐かしい大学周辺施設等調査・転写にも着手した。

13回鶴窓会関西支部総会次第	日時 令和元年10月13日(日)16時
場所 アークホテル大阪心斎橋	
1 開会の辞 (総司会 古川幹事)	2 ご挨拶と経過報告 (安富支部長)
(台風による本部校友会代表連絡メッセージにふれて)	3 最近の関西支部の動向
4 (都市の自然環境研究会「俗称芋煮会」他)	5 規約・役員、(樋上事務局長)
6 初参加者紹介 (柳本幹事)	7 懇親会 II (有志二同)
7 音楽・山形県民謡 (庄内おばこ・花笠音頭他)	8 寮歌・逍遙歌・校歌・一芸・エピソード
8 来賓紹介・ご挨拶 (本部より 純米酒きらめき・祝い金)	9 お願い 会費納入・寄付等 (事務局長)
9 ふすま同窓会代表 (里村義征氏)	10 閉会の辞 (鈴木顯雄幹事)



関西支部総会 令和元年10月13日(日) 於:「アークホテル大阪心斎橋」

7 懇親会 II (有志二同)  
寮歌・逍遙歌・校歌・一芸・エピソード  
8 写真撮影 (松田参与)

9 お願い 会費納入・寄付等 (事務局長)  
校歌(みどりぎ)等 来賓中心に唱和  
10 閉会の辞 (鈴木顯雄幹事)

今宵は山形からの風を受けて、日常生活を遊離し、青春時代にタイムスリップ、おおいに飲み、談笑し、謳い、別れを惜しみ、再会を誓いました。

(関西支部 大阪市中央区東心斎橋1-9-6、シティーコープ心斎601、旧地方計画設計コンサルタント事務所、会場は50mの位置になります。TEL 06-6252-16887)

芋煮会関西支部は昨年10月14日(日曜日)12回目の総会を終えて、又先9月には米沢工業会芋煮会、11月に総会に招待を受け参加、そして、年が明け、花咲き新緑香る4月下旬晴天のもと第5回都市の自然環境研究会(俗称芋煮会)を開催しました。又、本部総会にも、参加。又当会各幹事・会員とのネットワーク打合せがもたらされた。また、プロテクター使用の為より懐かしい大学周辺施設等調査・転写にも着手した。

芋煮会、11月に総会に招待を受け参加、そして、年が明け、花咲き新緑香る4月下旬晴天のもと第5回都市の自然環境研究会(俗称芋煮会)を開催しました。又、本部総会にも、参加。又当会各幹事・会員とのネットワーク打合せがもたらされた。また、プロテクター使用の為より懐かしい大学周辺施設等調査・転写にも着手した。

## 追悼 渡部俊三先生を偲んで



### 「渡部先生とのティータイム」

アグリサイエンスコース  
教 授 平 智

僕が園芸学科果樹園芸学講座に助手として赴任したのは1985(昭和60)年4月のことでした。当時研究室では毎朝8時半からスタッフがお茶を飲みながら、学生指導の打ち合わせをしたり、情報交換したりするのが慣例になっていました。新任の僕と渡部先生とのティータイムはこの時からスタートしました。

それ以降、先生が退官されるまでの10年間、休みの日や出張などで不在の日を除いてほぼ毎日、いろいろな話をしたり聞いていました。新任の僕と渡部先生とのティータイムはこの時からスタートしました。

僕が園芸学科果樹園芸学講座に助手として赴任したのは1985(昭和60)年4月のことでした。当時研究室では毎朝8時半からスタッフがお茶を飲みながら、学生指導の打ち合わせをしたり、情報交換したりするのが慣例になりました。新任の僕と渡部先生とのティータイムはこの時からスタートしました。

僕が園芸学科果樹園芸学講座に助手として赴任したのは1985(昭和60)年4月のことでした。当時研究室では毎朝8時半からスタッフがお茶を飲みながら、学生指導の打ち合わせをしたり、情報交換したりするのが慣例になりました。新任の僕と渡部先生とのティータイムはこの時からスタートしました。

の受講態度やテストの成績のこと、山形県をはじめ国内や海外の果樹生産事情などなど。毎日、話題には事欠かず、かつそれらは広範囲に及びました。

話の中で何度も登場したのは、ビス校での留学時代のエピソードです。英語でのコミュニケーションに苦労されながらも果樹の形態研究を深められた話をとても懐かしそうにされていた姿が思ひ出されます。園芸学科発足当初の実験室にものさしと秤しかなかった時代の話なども印象に残っています。

先生とのティータイムは、退官後も引き続きですが続きました。買いたい物や通院について「ちょうど寄りました」という感じで、僕が不在にしていて失礼しました。「まあ、そのうちまた来られるだろう」と樂観していたのですが、人づてに聞きました。「あの渡部先生が…」昔のことをきわめて正確に記憶しておられたルールブックのような存在であったのにわかには信じがたい情報でした。

### 「色紙の言葉を見返して」

櫻井陽子  
(平成5年園芸学科卒  
平成7年農学研究科修了)

平成7年3月、渡部俊三先生が退官されたのと一緒くちに、私も大学院を修了させていただいた。よつて自称、渡部先生の最後の指導学生と思っている。ただ、

岡本かの子は、あの岡本太郎の母親で、小説家、歌人としても有名な人、とは後で調べて分かったのだが、さすが博識で俳句や短歌にも造詣が深い渡部先生の選歌にありがたく感じ入った。當時の私の勝手な解釈では、名前が櫻井だから、桜の歌を書いてくれたのだろう、一生懸命頑張れよ、ずっと見守つてや、違うな、先生の言いたいことは別だ!と、なぜか衝撃的に気が付いた。この歌に込めたメッセージは、それは紛れもなく、渡部先生の研究人生、生き

2018(平成30)年の12月2~3日、僕はかねてから信州大学農学部より環境をテーマにした講演を依頼されており、先生の通夜にも葬儀にも参列することができませんでした。先生の一番近くで多くの薰陶を受けた、同じ道をゆく大学人の一人として、そのことが今も悔やまれてなりません。先生、改めてどうか無礼をお許しください。

先生は実にさまざまごとに博識でした。1994(平成6)年の秋、鶴岡で開催された比較文明学会の公開シンポジウム「日本海文明交流圏・縄文時代から現代、そして未来」では、パネリストとして紅花をめぐる文化交流についてお話をいただきました。パネリストの依頼を快諾してくださったこと、たいへんうれしく記憶に残っています。

僕も定年まであと4年あまりになりました。これからも先生の生きる姿勢に敬意を表しつつ少しでも前進できるよう精進したいと思います。今しばらく天上から見守っていただければ幸いです。

「桜ばないのち一ぱい咲くからに  
生命をかけて わが眺めたり  
岡本かの子」

## 創業以来43年の実績 専門技術者集団 土と水と緑の調和を築く 北海道三祐株式会社



### ◎私たちには新しい技術で、防災工事に貢献しています。

次々に発生する地震・津波、大噴火そして異常気象による洪水などにより、尊い命が奪われています。災害から人命やインフラを守るため、国を挙げての国土強靭化がスタートします。我が社の技術力が期待されます。

執行役員会長 早坂 武男(山形大学農学部 昭和41年卒)創業者  
代表取締役社長 笹浪 圭吾(室蘭工業大学工学部 昭和59年卒)

本 社 : 北海道札幌市北区屯田6条8丁目9-12 TEL(011)773-5121  
東北営業所 : 宮城県仙台市青葉区柏木1丁目1-53-201 TEL(022)779-7236  
メ ー ル : h.sanyu@dosanyu.co.jp ホームページ : <http://www.dosanyu.co.jp/>